

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 5 月 29 日現在

機関番号：11301

研究種目：若手研究

研究期間：2018～2022

課題番号：18K17425

研究課題名（和文）看護師の特殊性に着目した職業価値観尺度の開発と関連要因の解明

研究課題名（英文）Development of nurses' work values scale focusing on nurses' peculiarities and elucidation of related factors

研究代表者

原 ゆかり（Hara, Yukari）

東北大学・医学系研究科・助教

研究者番号：20756259

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,100,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、看護師の職業価値観尺度および日本語版キャリアコンピテンシー尺度を作成し、それらに関連する要因を解明することを目的として調査を実施した。東北地方に所在する1病院を対象とした予備調査と、52病院を対象とした本調査の結果から、看護師の職業価値観尺度および日本語版キャリアコンピテンシー尺度が適切な構成概念妥当性と信頼性を有しており、実用可能な尺度であることが示された。続く関連要因の検討では、看護師の職業価値観がワークライフバランスを示す概念に影響を及ぼしながらワークエンゲイジメントに影響を及ぼしていることが明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究で開発した看護師の職業価値観尺度および日本語版キャリアコンピテンシー尺度によって、看護師が持つ職業価値観およびキャリアコンピテンシーの適切な測定が可能になった。そのため、看護師の態度、行動、アウトカム変数との複雑な関連性を詳細に解明することにつながると考えられる。これらの結果は、看護師の職業移動に関連する要因の解明や、看護師のキャリアを検討するために有益であり、看護師の適切なキャリア構築は、質の高い看護ケアの提供にまで影響を及ぼす可能性がある。

研究成果の概要（英文）：In this study, we developed nurses' work values scale and a Japanese version of career competency scale, and conducted a survey to elucidate the factors related to them. Based on the results of a first survey targeting one hospital located in the Tohoku region and the results of second survey targeting 52 hospitals, it was showed the validity and reliability of the appropriate constructs for the nurses' Work Values Scale and the Japanese version of the Career Competency Scale. In the subsequent examination of related factors, it became clear that nurses' work values influenced work engagement and the concept of work-life balance.

研究分野：看護管理

キーワード：職業価値観 work values 看護師 病院 職業移動 キャリア 人材管理

1. 研究開始当初の背景

看護師の離職理由について、結婚・出産が最も多く、それに続く理由は、昇進などキャリアアップに関する理由よりも勤務時間や休日が希望通りにならないことが上位に挙げられている。加えて、夜勤や休日の取り方に関して現状に満足していない看護師ほど離職意向が強くなる。看護師の離職には、年齢、性別、仕事量、ストレスなどが予測因子として明らかにされてきたが、転職や復職を含めた複雑な看護師の職業移動には、看護師それぞれに内在する職業や働き方に対する価値観がその背景にあると考えられる。

看護師は女性の割合、業務内容、勤務時間の観点から特殊な職業集団であるため、看護師に特有の職業価値観を明らかにする必要がある。就業者の94%を女性が占め、約9割が正規雇用という点で特殊な職業集団と言える。加えて、感情労働であることや業務内容の特殊性も指摘されてきた。看護師の約7割が病院に就業しているが、病棟に勤務する看護師は育児・介護をするもの以外は夜勤をせざるを得ず、2交代勤務・3交代勤務などの勤務形態や休日に関する自律的な選択が困難という現状に直面する。そのような環境で働き続ける間に、夜勤を含む労働条件に対する価値、他者を助けるという利他的な価値、経済的自立性、看護師としての成長・自律に対する価値などが形成されると考えられる。

看護師を対象とした職業価値観の研究では、職業継続意思、職務満足と職業価値観の関連が報告されているが、用いられた尺度は一般労働者を対象とした尺度であり、前述したような看護師に特有の価値観が含まれていない。離職、転職、復職など複雑な看護師の職業移動と職業価値観の関連を明らかにするためには、看護師に特有の価値観を含んだ尺度の開発が必要である。

加えて本研究では、看護職を対象に、Career Competencies Questionnaire (CCQ) の英語版を用いて日本語版キャリアコンピテンシー尺度を作成する。看護職を対象に適切にキャリアコンピテンシーを測定することによって、キャリアが多様化した現代日本において、看護職のキャリアコンピテンシーがどのようにキャリア開発に影響を及ぼしているのかを明らかにすることができると考えられる。

さらに、看護職の職業価値観尺度および日本語版キャリアコンピテンシー尺度の作成に続いて、仮説モデルの検証を行う。本研究では、看護職が持つ職業価値観が、看護職のキャリアコンピテンシーにどのように影響を及ぼし、さらにワーク・エンゲイジメントや人生の満足度などのアウトカムにどのように影響を及ぼしているかを明らかにする。

2. 研究の目的

本研究の目的は以下の3つである。

- (1) 看護職の職業価値観尺度の作成
- (2) 日本語版キャリアコンピテンシー尺度の作成
- (3) 仮説モデルの検証を行い看護職のキャリアと職業価値観の関連を明らかにすること

3. 研究の方法

研究方法として、予備調査および本調査の2回の無記名自記式質問紙調査を実施した。予備調査の目的は、看護職の職業価値観尺度の作成と日本語版尺度の作成であり、本調査の目的は、尺度の精度の確認と仮説検証である。以下にそれぞれの調査方法を記載する。

(1) 予備調査 調査方法

東北地方の任意の地域にある病院の看護管理者に対して、依頼書を送付して研究への協力を依頼した。その結果1施設約300名の看護職から協力が得られた。研究への協力を同意が得られた病院に勤務する看護職に対して、看護管理者を通して説明書および調査票を配布した。説明書には研究の目的や回答には個人情報が含まれないこと、参加は自由意思であること等を記載し、調査票への回答をもって同意が得られたものとみなした。回収は留め置き法とするが、封のできる封筒を用いることで、プライバシーに配慮した。

(2) 本調査 調査方法

サンプルサイズ計算より2,600名を対象とすることとし、東北地方の100床以上の病院52施設に対し調査依頼を行った。研究への協力を同意いただけた病院に勤務する看護職に対して、看護管理者を通して説明書および調査票を送付した。説明書には研究の目的や回答には個人情報が含まれないこと、参加は自由意思であること等を記載し、調査票の返送をもって同意が得られたものとみなした。回収方法は郵送法とした。

4. 研究成果

予備調査では、調査票を298部配布し282部の調査票を回収した(回収率94.6%)。不明回答を含む6部を分析対象から除外し、276部を分析に使用した(有効回答率92.6%)。対象となった看護師の個人属性は、女性が262名(94.9%)、平均年齢40.6歳(±9.8)であり、最終学歴

については、看護師教育3年課程が139名(50.4%)と最も多かった。

看護師の職業価値観について、尺度原案の項目分析として歪度および尖度の確認、天井効果および床効果の確認を行い、Item-Total 相関分析(以下 I-T 相関)を実施した。因子分析の適合性については Bartlett の球面性検定を実施し、標本妥当性については Kaiser-Meyer-Olkin(以下 KMO) 値を算出した。次に、探索的因子分析(主因子法、Promax 回転)を行い、質問項目の精選と、想定した構成概念と同等の因子構造が得られるかの確認を行った。キャリアコンピテンススケールについても同様の分析を行った。

本調査では、東北6県の100床以上の病院52施設に対し、計2,600通の調査票を配布した結果、1,627通を回収した(回収率62.5%)。このうち、回答に不備のあった39通を除外し、1,587通を用いて分析を行った(有効回答率61.0%)。対象となった看護師の個人属性は、女性が1,464名(92.2%)、平均年齢40.7歳(±10.3)であり、最終学歴については、大学・大学院卒が150名(9.5%)であった。

看護師の職業価値観尺度について、確証的因子分析として30項目4因子構造を想定し共分散構造分析を行った。看護師の職業価値観尺度の基準関連妥当性を検証するために、短縮版労働価値観尺度および看護師の職業価値観の下位因子ごとの合計点を用いて算出した Pearson の積率相関係数を算出した。また、看護師の職業価値観尺度の併存妥当性を検証するために、ワーク・エンゲイジメント尺度の合計点と、看護師の職業価値観の下位因子ごとの合計点を用いて Pearson の積率相関係数を算出した。

これらの結果から、看護師の職業価値観尺度および日本語版キャリアコンピテンススケールは適切な構成概念妥当性と信頼性を有しており、実用可能な尺度であることが示された。

看護師の職業価値観の関連要因の検討では、work-to-family spillover が、看護師の職業価値観とワーク・エンゲイジメントの関係を調整することが明らかとなった。さらに、看護師の職業価値観尺度の4下位因子を用いた潜在プロファイル分析によって、看護師は5つのサブグループに分類できることが明らかになった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 Yamada Masako, Asakura Kyoko, Takada Nozomu, Hara Yukari, Sugiyama Shoko	4. 巻 21
2. 論文標題 Psychometric properties of the Japanese version of the career competencies questionnaire for nurses: a cross-sectional study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 BMC Nursing	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s12912-022-01035-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Hara Yukari, Asakura Kyoko	4. 巻 56
2. 論文標題 Concept analysis of nurses' work values	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nursing Forum	6. 最初と最後の頁 1029 ~ 1037
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/nuf.12638	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原ゆかり	4. 巻 22(3)
2. 論文標題 看護師が持つ職業価値観に関する研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域ケアリング	6. 最初と最後の頁 54-56
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計6件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 原 ゆかり, 山田薫子, 高田望, 杉山祥子, 朝倉京子
2. 発表標題 ワーク・エンゲイジメントに対する看護師の職業価値観とwork-to-family spilloverの調整効果
3. 学会等名 第42回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hara Y, Hirayama H, Takada N, Sugiyama S, Yamada M, Takahashi M, Toshi K, Asakura K.
2. 発表標題 Classification of clusters using nurses' work values and examination of their characteristics.
3. 学会等名 26th EAFONS (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山田薫子, 朝倉京子, 原ゆかり, 高田望, 杉山祥子
2. 発表標題 日本語版キャリア・コンピテンシー尺度の信頼性および妥当性の検証
3. 学会等名 第25回日本看護管理学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 原 ゆかり, 朝倉 京子, 山田薫子
2. 発表標題 看護師の職業価値観尺度の開発と信頼性および妥当性の検証
3. 学会等名 第41回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 原 ゆかり, 朝倉 京子
2. 発表標題 看護職・看護学生を対象とした職業価値観に関する研究の動向と今後の課題
3. 学会等名 第39回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yukari Hara, Kyoko Asakura
2. 発表標題 Concept analysis of nurses and nursing students' work values
3. 学会等名 The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (国際学会)
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関